

2021年6月29日

ミス・パリ・ビューティ専門学校 学校関係者評価報告書

ミス・パリ・ビューティ専門学校

校長 本鍋田 あゆみ

学校法人ミスパリ学園 ミス・パリ・ビューティ専門学校 学校関係者評価委員会は2020年度（令和2年度）自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しましたので、以下のとおり報告致します。

1. 開催日時：2021年6月29日 10：00～12：00

2. 場 所：ミス・パリ・ビューティ専門学校

3. 参加者

学校関係者評価委員

進藤 大 (株式会社sline (美容室サンベイス) 代表取締役)
(日本美容業生活衛生同業組合連合会 渋谷区副支部長)

宮腰 大司 (有限会社ヘアージェスト 代表取締役)

平山 浩篤 (株式会社シェイプアップハウス 取締役)
(学校法人ミスパリ学園評議員)

杉原 昭二 (学校法人ミスパリ学園理事、評議員)

須賀谷 映子 (NPO法人日本スパ・ウェルネス協会 教育委員長)
(学校法人ミスパリ学園評議員)

越川 治枝 (株式会社シェイプアップハウス 教育部 課長)

事務局 本鍋田 あゆみ (ミス・パリ・ビューティ専門学校 校長)

廣石 裕 (ミス・パリ・ビューティ専門学校 課長)

宇賀神 亜季 (ミス・パリ・ビューティ専門学校 主任)

陪 席 東 千晶 (株式会社シェイプアップハウス 人事部 部長)

大石 将人 (株式会社ミス・パリ お客様相談室 室長)

中澤 健太郎 (ミス・パリ・ビューティ専門学校 教育課 課長)

加納 倫一 (ミス・パリ・ビューティ専門学校 教育課 課長)

4. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

①学生アンケートにおける改善点

【現状】

東京校では年間で4種のアンケートを実施し、そのデータから割り出される課題を抽出している。

- | | | | |
|-----------------|-----|-----------|---------------|
| ●入学アンケート | ・・・ | ・対象：新入生 | ・入学決定における期待 |
| ●授業アンケート（前期・後期） | ・・・ | ・対象：在校生 | ・授業内容、進度、教員指導 |
| ●卒業アンケート | ・・・ | ・対象：卒業生 | ・2年間の学校生活について |
| ●卒業生評価 | ・・・ | ・対象：就職先企業 | ・就職先での卒業生の様子 |

今までは無記名でのアンケート収集を行っていたが正しいデータの収集が困難となり、昨年度から「記名式」に変更したところ、学生からのコメントが増えた。また、これまでのアンケート集計では純粋な個人での結果を比較検討していたが、同じ授業でもクラス間の誤差を知る目的でクラス平均を割り出し、担当する講師のクラス内評価値を出した。それにより、強化ポイントを絞り込むことが可能となり、講師面談の際に周知をさせた。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

②自己評価点の理由

【現状】

例年自己評価アンケートの実施をWebアンケートにて行い、部門ごとに分けて収集をしていたが、結果の数値に評価項目の認識に差が生じるなど、アンケートの目的が浸透していなかったことが判明した。具体的には学生が行っている課外活動や退学防止の施策について、情報共有不足が原因となり、自己評価点のばらつきが大きく目立った。そこで、2020昨年度は講師研修会や職員会議等を活用して学校運営に関する説明、周知を行ったところ、多くの項目で評価が上がる結果となった。

次年度の自己評価アンケートでは精度向上を目的として、各評価項目に関して受け取り方の相違確認も行う。そのため記名式でアンケートを実施し、職員全員が同じ認識が持てるようにしていく。

委員より

・今回の自己評価アンケートの評価点が、研修などの周知により、全体的に向上していることについては評価ができる。しかし、まだ他にもっと改善できる点もあると感じるため、学内各部署とのコミュニケーションを向上させ、相互認識が出来る動きをすることで、更なる評価改善に繋げて欲しい。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

③重点的に取り組む施策

【現状】

進級率、卒業率の向上を重点的な目標として設定をする。過去の例によれば、欠席をすると授業の内容がわからなくなり、その後も欠席が続くことが多いため、欠席した授業のフォローをしっかりと行っていく。また、遅刻や欠席の理由がはっきりしない学生に対しては、即座にその理由を確認し、教員間での情報共有を行い、ご家庭・保護者との連携を図り、3者体制で学生のサポートを行っていく。

委員より

・授業アンケートのコメントにあった外部講師の発言については、該当の講師と面談を行い、事実関係を確認したとのことであるが、学生が不快と受け止めていることから、言葉遣いなど、今後も起きることを想定して、授業に入る前には必ず注意喚起を行って頂きたい。

5. 全体総括

今回の学校関係者評価委員会は、重点とする課題項目をより明確に抽出をして実施した。アンケート分析を行う上でも、明確な目標数字を掲げ学校内での共有化を図り、教員間の意識統一を図っていく。また進級・卒業率の向上に向けて、サロン現場での育成方法である目標と信念を持たせ続けさせる指導を参考にして、今後とも取り組むこととする。

以上